

Pioneer

DJミキサー

DJM-T1

「TRAKTOR 2」

バージョン2.6対応 セットアップガイド

はじめに

DJM-T1のファームウェアをバージョン3.00以降にアップデートし、弊社より提供のセッティングファイルバージョン1.02以降をTRAKTOR2にインポートすることにより、TRAKTOR 2.6で追加となった以下の新機能をDJM-T1より操作することが可能となります。

アップデートにより操作可能となるTRAKTORの新機能：

- ・ FLUXモード
- ・ FX Unit RoutingのPost Fader設定

新機能を DJM-T1 を使用してコントロールするために必要な要件：

- ・ DJM-T1 のファームウェアバージョン 3.00 以降
- ・ セッティングファイルバージョン 1.02 以降を TRAKTOR にインポート済み

まず、DJM-T1 本体をバージョン 3.00 以降にアップデートしてください。アップデートの方法はアップデートガイドをご参照ください。

次に弊社提供のセッティングファイルバージョン 1.02 以降を TRAKTOR2 にインポートしてください。インポートの手順はインポートガイドをご参照ください。

アップデートガイド、インポートガイドは弊社サポートサイト (<http://pioneerdj.com/support/>)をご確認ください。

1. FLUX モードの使い方

TRAKTOR バージョン 2.6 で新しく追加になった“FLUXモード”機能のオンオフ切替え及び“FLUX モード”オン時の HOT CUE ジャンプを DJM-T1 の操作子を用いてコントロールすることができます。

1. DJM-T1 の[LOAD A]ボタンまたは[LOAD B]ボタンを押す

TRAKTOR のデッキ A またはデッキ B に曲がロードされます。

2. DJM-T1 の DECK A もしくは DECK B の[▶/||]ボタンを押す

該当デッキの楽曲再生が開始されます。

3. DJM-T1 の[SELECT]ボタンを押して“HOT CUE”モードを選択し[HOT CUE]ボタンを押す

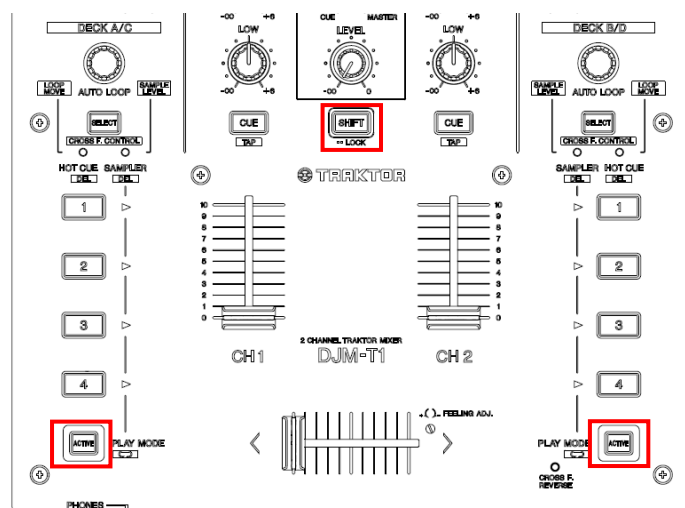
HOT CUE ポイントが登録されます。

4. DJM-T1の[SHIFT]ボタンを押しながら[ACTIVE]ボタンを押す

ご使用になりたいデッキのACTIVEボタンを押してください。

上記の操作を行うたびに TRAKTOR の FLUX モード、オンオフが切り替わります。FLUX モードのオンオフ状態は DJM-T1 にて確認ができます。

- ・ FLUXモードオン：SHIFT押した状態でACTIVEボタンが点灯
- ・ FLUXモードオフ：SHIFT押した状態でACTIVEボタンが消灯



5. FLUX モードオンの時に HOT CUE ボタンを押す

ボタンを押している間 HOT CUE ポイントからの再生が続き、TRAKTOR のデッキ上に“FluxMode”の表示が現れます。ボタンから手を離すと再生位置が飛びます。

2. Post Fader の設定方法と使い方

TRAKTOR バージョン 2.6 で FX Unit Routing 設定に Post Fader が追加されました。

TRAKTOR を Post Fader 設定にしたときに DJM-T1 の CH フェーダーをオフした時、エフェクトの効果が残るようにするために DJM-T1 に Internal モードとして動作する機能を追加しました。

Internal モード：

TRAKTOR をコントロールし TRAKTOR 内部で音声をミックスするためのモード

External モード (従来のモード)：

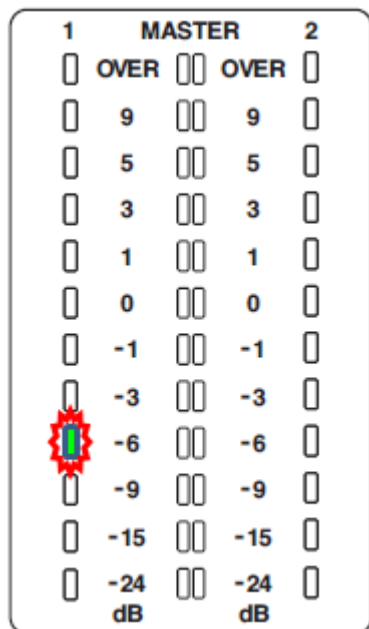
DJM-T1 内部で音声をミックスするためのモード

2-1. Post Fader の設定方法

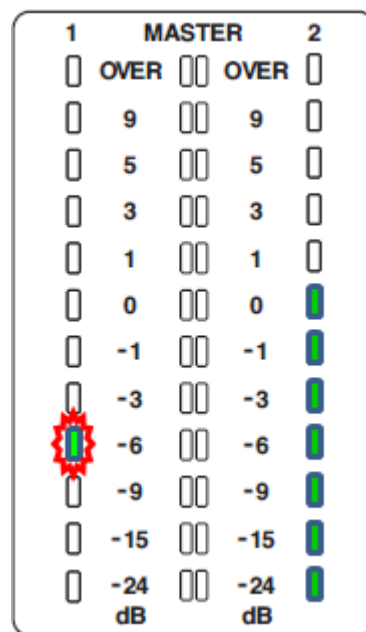
DJM-T1 を Internal モードにする

1. DJM-T1 の[UTILITY]ボタンを 1 秒以上長押しする
2. DJM-T1 の[LOAD B]ボタンを数回押して CH1 の -6dB 横が点滅する状態にする

UTILITY への入り方、変更の仕方の詳細は取扱説明書をご参照ください。



3. ロータリーエンコーダーを右に回す



4. CH2 のレベルメータが 7 つ点灯していることを確認する

DJM-T1 が Internal モードとなります。

5. ロータリーエンコーダーを押す (設定を記憶します)

設定を記憶する間 UTILITY LED が高速点滅します。

ロータリーエンコーダーを押さずに UTILITY モードを抜けると設定は記憶されず UTILITY モードに入る前の状態に戻ります。

6. [UTILITY]ボタンを押す

UTILITY ボタンの点滅が止まり UTILITY モードから抜けます。

注意：

- ・ DJM-T1 を Internal モードに設定時は MIDI オンオフボタン CH1 及び CH2 による MIDI のオンオフ切替は無効となります。ボタンを押した場合は一定時間 LED が高速点滅します。
- ・ DJM-T1 を Internal モードに設定時、TRAKTOR を起動したときに操作子の位置が DJM-T1 と TRAKTOR で異なっている場合があります。その際は DJM-T1 の操作子を動かして位置を合わせてください。
- ・ DJM-T1 を External モードに設定時、MIDI オンオフ切り換えは通常オフで使用してください。

【Internal モードから External(従来のモード)に戻る】

※DJM-T1 を Internal モードで使用する場合は、ここでの操作は不要です。3 ページの「TRAKTOR を Internal モードにする」に進んでください。

1. 上記 3 の手順の際にロータリーエンコーダーを左に回し CH2 レベルメーターが全て消灯していることを確認する

DJM-T1 が External モード(従来モード)となります。

2. ローターリーエンコーダーを押す(設定を記憶します)

設定を記憶する間 UTILITY LED が高速点滅します。

3. [UTILITY]ボタンを押す

UTILITY ボタンの点滅が止まり UTILITY モードから抜けません。

注意：DJM-T1 を External モードにしたときは TRAKTOR の [Output Routing]設定を External に変更してください。
External に変更しない場合 TRAKTOR からの音声を DJM-T1 で正しくミックスできません。

TRAKTOR を Internal モードにする

1. [Preferences] ウィンドウから[Output Routing] を選ぶ
2. [Internal]を選択し、[Output Monitor][Output Master]を以下の様に設定する

- Windows

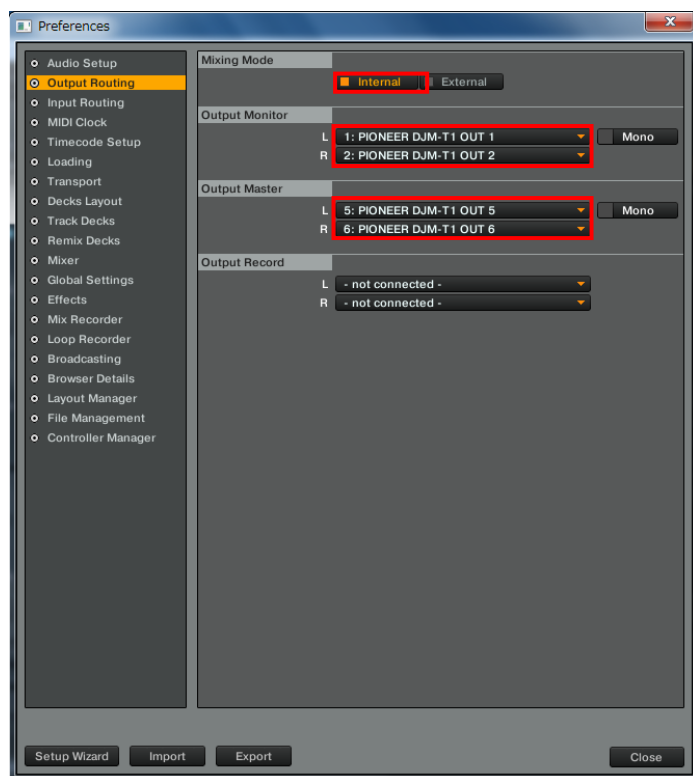
Output Monitor
Lch PIONEER DJM-T1 OUT 1
Rch PIONEER DJM-T1 OUT 2
Output Master
Lch PIONEER DJM-T1 OUT 5
Rch PIONEER DJM-T1 OUT 6

※OUT 3,OUT 4 は設定しないでください。

- Mac OS X

Output Monitor
Lch PIONEER DJM-T1 OUT 0
Rch PIONEER DJM-T1 OUT 1
Output Master
Lch PIONEER DJM-T1 OUT 4
Rch PIONEER DJM-T1 OUT 5

※OUT 2,OUT 3 は設定しないでください。



TRAKTOR の FX Unit Routing を変更する

1. [SHIFT]ボタンを 2 回連続で素早く押す

この時 SHIFT ホールド状態となり[SHIFT]ボタンが点灯します。

2. [SHIFT]ホールド状態でさらに[SHIFT]ボタンを押す

この時 SHIFT ボタンが高速に点滅します (ADVANCED SHIFT モード)。

3. [SHIFT]ボタンを押したまま HEADPHONE CUE CH1 もしくは CH2 を押す

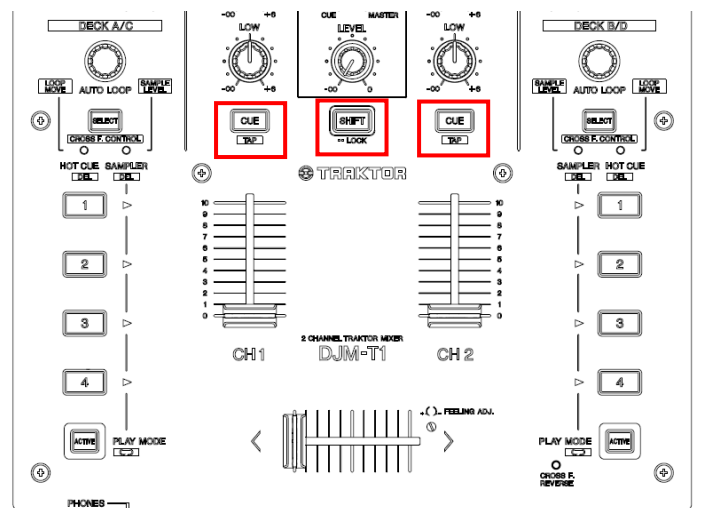
TRAKTOR の FX Unit Routing が変わります。

ADVANCED SHIFT モード時の HEADPHONE CUE ボタンの点灯状態で

TRAKTOR の FX Unit Routing の状態が判別できます。

点灯：Insert

消灯：Post Fader



Internal モードで使用する場合[FX Unit Routing]設定は“Insert”でもご利用いただけますが“Post Fader”を選択することにより CH フェーダーをオフした状態でもエフェクトの効果を残すことが可能となります。

【ZOOM 機能のアサイン変更に関して】

セッティングファイルバージョン 1.01 で上記の操作にアサインされていた[ZOOM]機能は別の操作にアサインされました。

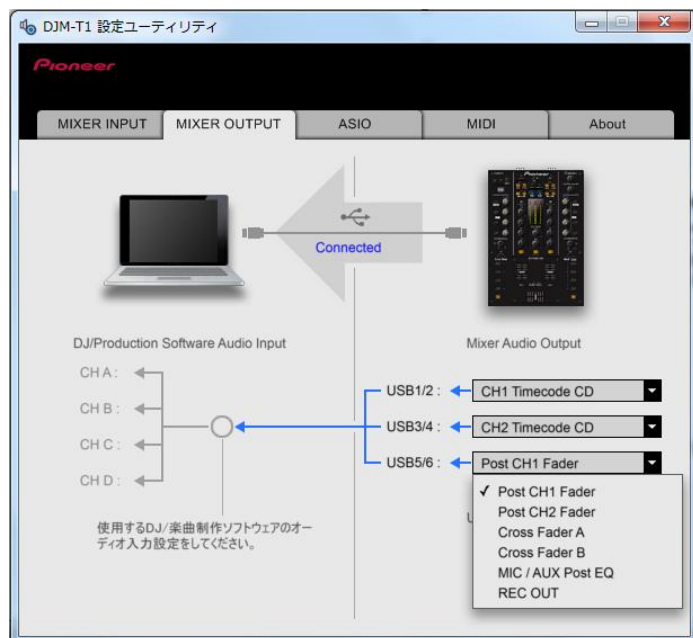
(ZOOM 機能の新しい操作方法)

ADVANCED SHIFT モード時にデッキ A の SELECT ボタンもしくはデッキ B のセレクトボタンを押す。

Internal モード時の設定ユーティリティ

DJM-T1 が Internal モードになっているとき入力切り替えスイッチの位置によって PC の設定ユーティリティでの以下の設定が無効になる場合があります。

[MIXER OUTPUT] USB 5/6 の設定



2-2. Post Fader の使い方

DJM-T1 を Internal モードに設定し、TRAKTOR の Output Routing を "Internal" に設定、FX Unit Routing を "Post Fader" に設定することにより

DJM-T1 の CH フェーダーをオフした状態でもエフェクトの効果を残すことが可能となります。

DJM-T1 の入力切り替えスイッチを[USB]に設定すると以下の操作子を使って TRAKTOR をコントロールすることができます。

(操作子)

- 各 CH TRIM つまみ
- 各 CH ISO つまみ
- 各 CH ヘッドホン CUE ボタン
- 各 CH CH フェーダー
- クロスフェーダー

CH1 の各操作子は TRAKTOR の DECK A、CH2 の各操作子は DECK B に対応しています。入力切り替えスイッチを[USB]以外に設定した場合は上記操作子を使っての TRAKTOR コントロールはできません。

注意：TRAKTOR 側で Autogain がオンになっている場合 (TRAKTOR の GAIN つまみ右下のボタンの色がオレンジになっている時) は TRIM つまみを使用して TRAKTOR をコントロールすることはできません。

MASTER 音量を調整する

1. DJM-T1 の MASTER つまみを回す

TRAKTOR 内でミックスされた音声を DJM-T1 から出力するときに MASTER 出力のレベルを DJM-T1 で調整することができます。

※TRAKTOR のコントロールはできません。

注意：DJM-T1 で MASTER 音量を調整する際は、TRAKTOR の MAIN ノブはデフォルトの位置 (マウスでノブをダブルクリックすると移動する位置) で使用してください。

BOOTH 音量を調整する

1. DJM-T1 の BOOTH つまみを回す

TRAKTOR 内でミックスされた音声を DJM-T1 から出力するときに BOOTH 出力のレベルを DJM-T1 で調整することができます。

※TRAKTOR のコントロールはできません。

Post CH1 Fader

		CH2		
		CD	PHONO	USB
C H 1	CD	○	○	○
	PHONO	○	○	○
	USB	×	×	×

Cross Fader A

		CH2		
		CD	PHONO	USB
C H 1	CD	○	○	○
	PHONO	○	○	○
	USB	×	×	×

MIC/AUX Post EQ

		CH2		
		CD	PHONO	USB
C H 1	CD	○	○	○
	PHONO	○	○	○
	USB	○	○	○

○：有効 ×：無効

Post CH2 Fader

		CH2		
		CD	PHONO	USB
C H 1	CD	○	○	×
	PHONO	○	○	×
	USB	○	○	×

Cross Fader B

		CH2		
		CD	PHONO	USB
C H 1	CD	○	○	×
	PHONO	○	○	×
	USB	○	○	×

REC OUT

		CH2		
		CD	PHONO	USB
C H 1	CD	○	○	○
	PHONO	○	○	○
	USB	○	○	○

ヘッドホンで音声をモニターする

1. DJM-T1 の[HEADPHONES MIXING]つまみを CUE 側に回す

※TRAKTOR のコントロールはできません。

2. DJM-T1 の CH 1 または CH2 のヘッドホン[CUE] ボタンを押す

TRAKTOR のヘッドホン CUE ボタンが点灯します。

3. DJM-T1 の[HEADPHONES LEVEL]つまみを回す

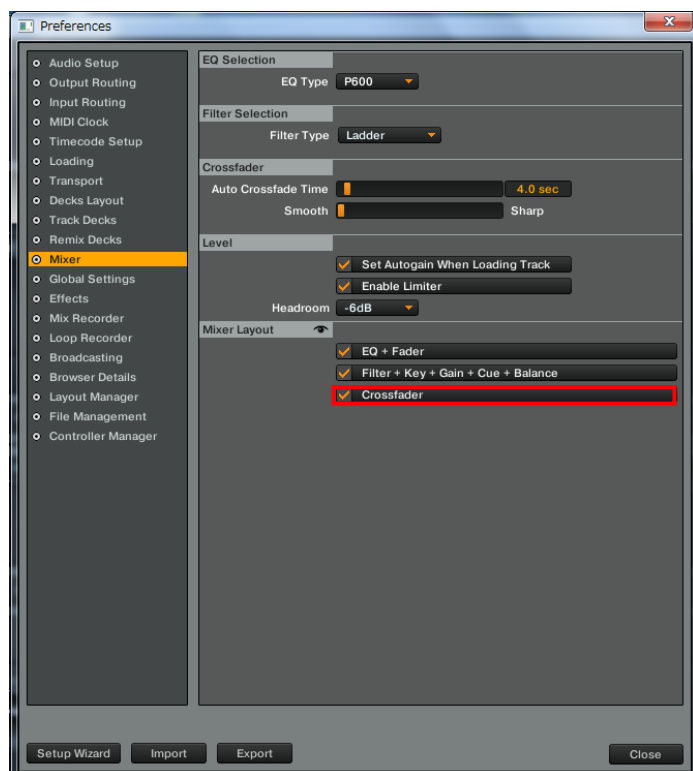
ヘッドホンから出力される音量レベルを適切な音量に調整します。

※TRAKTOR のコントロールはできません。

注意：ヘッドホンで音声をモニターする際は、TRAKTOR の Cue Mix ノブを CUE 側に回し切った状態で行ってください。また、TRAKTOR の Cue Vol ノブはデフォルトの位置 (マウスでノブをダブルクリックすると移動する位置) で使用してください。

TRAKTOR に HEADPHONE MIX ノブがない場合は以下の設定を行うと TRAKTOR 上に表示されます。

[Preferences]を開き[Mixer] ページで Crossfader の項目にチェックを入れる。



商標および登録商標について

- ・ Pioneer はパイオニア株式会社の登録商標です。
- ・ TRAKTOR は Native Instruments 社の登録商標です。
- ・ Windows®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

©2012 パイオニア株式会社

禁無断転載

パイオニア株式会社

〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1 番1 号